

第4回
暨南大学交流研修訪問団
報告レポート

2013年9月6日（金）～9月26日（木）

第4回暨南大学交流研修訪問団に参加して

工学部4回生 男子学生

えっ？意外！こんなにも楽しくて充実したもので本当にいいの？これが研修を終えての正直な感想です。毎日が修学旅行(の夜)。そう言えるくらい3週間を楽しく過ごしました。中でも大きかったのは広州でできた100人以上の友達。彼らと過ごした時間は、一生の大切な思い出です。

みんなフレンドリーなので、すぐに仲良くなります。クラスでピクニックやサイクリングに行ったり、食堂で一緒に不味いご飯を食べたり、ゴージャスなカラオケに行ったり、帰国前日プレゼントをもらったり…。私たちと同じように面白いこと、楽しいことが大好き。授業中もよくふざけ合って笑いが起こります。クラスメイトは全員、中国語を学ぶ外国人。韓国、ベトナム、インドネシア、サウジアラビア、ネパール、マダガスカル、イエメン、アンゴラ、フィリピン、コロンビア、カナダ、シリア、トルコなどなど、様々な国から来ていました。華文学院ならではのインターナショナルな雰囲気、良い経験になりました。彼らの多くは第三言語で中国語を学んでいるので、基本的に英語が話せません。英語で話してみると、拙くても案外伝わるのだなと嬉しかった反面、言いたいことが全て言えないもどかしさもありました。彼らとの出会いで、英語と中国語を話せるようになろう！と今強く思います。それは将来、仕事で使うから勉強するなどではなく、純粋に友達と楽しく会話をしたいから。翻訳アプリに頼らずに、同じ目線で同じ感覚でコミュニケーションしたいから。彼らの話している英語や中国語をよく聞いてみると、中学レベルの簡単な言葉を使っているの、自分にも十分できるだろうとヤル気も湧いてきました。3週間学んだ結果、中国語独特のアクセントやリズム、イントネーションなどの語感を掴めたと思います。ほとんどゼロのスタートから、たった数週間で耳が慣れてくる感覚を肌で体験しました。日常会話程度なら、語学はそんなに難しくはないのかもしれないと、今までの考えが大きく変わったのが収穫の一つです。

この3週間で様々な人や文化との出会いを通して、一番の目的としていた「視野を大きく広げること」は達成できたように思います。日本にいたら絶対にできない経験をしました。鳩の丸焼きを頭ごと食べたり、車がビュンビュン走る中よく見て道路を渡ったり(信号が少ないので)、お洒落な船でクルーズしながら綺麗な夜景やカラフルにライトアップされた広州タワーを見たり、ニセモノブランドがたくさん売っている街でNIKEの靴を値引き交渉したり…。華僑の友人の真似をしながらも、少しずつできることが増えていき、自分の成長が目に見えるようで嬉しく思う毎日でした。少し困ったのは、トイレが少ないこと。大きな駅でさえトイレが無く驚きました。そのおかげで、廁所在哪里？は上手に発音できるようになりました。またトイレトペーパーが無く、あったとしても流せないことが多いので、汚物入れに捨てます。日本は本当に恵まれているのだな、と思った瞬間でした。

このようにたくさんのことを学んだ3週間でした。参加して本当に良かったです。日本

を外から見ることができました。自分の知らない楽しいことが、世界にはたくさんあると
知りました。先生方や現地の友人に何度も手助けしてもらい、無事研修を終えられたこと
に感謝したいです。



ライトアップされた広州タワー



華文学院東門前にある王府



丸焼きメニュー



メンバーで撮った写真



宿泊した寮の部屋



クラスで行ったカラオケ



華文学院南門

第4回暨南大学交流研修訪問団に参加して

環境人間学部 3 回生 男子学生

私は 2012 年の蘇州大学交流研修団に参加した際に、中国の文化に改めて興味をもったので、今回の暨南大学交流研修団に再度参加しました。

広州に降り立ってまず感じたのは、活気あふれる都会の中心に大学があるということもありましたが、街にただよう熱気でした。次々と建設されていくビル群に市内を縦横無尽におおる地下鉄、そして個人商店が立ち並ぶ路地を疾走するタクシーにトラック、三輪車に真新しい自家用車。その間を大勢の人々が隙間を埋め尽くすように、皆があわただしく動き回っているのを見ると、発展への活力がみなぎる街というのはこういうものなのかと茫然としてしまいました。

最初の 1 週間で広州市内にある有名な博物館や史跡をまわりましたが、個人的に一番興味をもったのは広州起義烈士陵园にあった廣州近代史博物館です。清の時代からの広州の歴史が貴重な資料とともに保管してあったので、見学をしていて興味が尽きることはありませんでした。

暨南大学での日本語学科の学生との交流会をはじめとして、華南師範大学、中山大学、広東外語外貿大学といった様々な大学の日本語学科の生徒との交流会に参加しました。交流会といっても一緒にご飯を食べ、立ち話をする程度のことでしたがその中で日本に対する強い興味やあこがれを強く感じ、日本語学科の学生の日本に対する興味を勉強意欲の強さに感銘を受けました。

5 人の研修メンバーの内、私を含めて 3 人が参加した中国語学習のクラスは、若く情熱的な先生と多国籍なクラスメートに囲まれとても充実していました。授業は中国語と英語を用いて進行していくので、教科書の内容を理解するよりも先生たちの中国語と英語を交えた説明、クラスメートたちの笑いの「ツボ」をおさえるのに苦労しました。しかしフレンドリーな仲間とすぐに打ち解けて、お互いの文化の違いについて話し合い、一緒に中国語を勉強するのは本当に楽しい時間でした。さらにはクラスメートと一緒にピクニックをして、日本の手巻き寿司をふるまったりサイクリングをしたりして交流を深めあった思い出は忘れることができません。私たちが帰る前日にはカラオケパーティを開催してもらい、日本に帰るのが惜しくなるほどでした。

ここで痛感したのは英語力の重要さで授業やクラスメートたちと会話するのはすべて英語で、なおかつ各々が英語を第二母国語として勉強してきたのもあってか、出身国の訛りがまじった英語で半分近くが聞き取れないという事態もありました。また様々な国の学生と交流するにあたって気づいたのは、日本という国に対するイメージの良さという点でした。日本で放映されているアニメや出版されている漫画は、インターネット社会において瞬く間に発信され、さらには日本でのバラエティ番組が数日遅れでネット上に掲載されている事実を知り、驚きを感じるとともに改めて日本のサブカルチャーの強さを肌で感じま

した。

最後に暨南大学で中国語を学んでいる、日本から来た華僑の学生たちに感謝の意を表したいと思います。今回の3週間の交流研修において重要な役割を持ったのは、日本で生活をしていて暨南大学に中国語の勉強をしてきている華僑の学生の存在が大きかったと思います。中国語がまったくできない私たちに広州市内の案内役を引き受けてくれ、なおかつ他校との交流会を運営し積極的に私たちを誘ってくれたのも、彼らの存在があったからこそできた貴重な経験でした。

3週間という短い間でしたが、今までの自分の人生の中で一番充実していた日々だったと実感しています。大勢の出身が異なる仲間にもまれて生活した3週間を、私はこれから先一生忘れません。







第4回暨南大学交流研修訪問団に参加して

環境人間学部 1 回生 女子学生

今回この暨南大学交流研修訪問団に参加して、たくさんの経験をする事ができました。まず、私は大学に入ってから4か月間しか中国語を勉強していないため一番下のクラスに入れてもらったのだが、それでも授業についていくのはとても大変だった。先生はほとんど中国語でしか説明しないため、今みんなが何をしているのかなども分からず本当に苦労した。だが、3週間滞在する中で、完璧にはいかなかったが、言っていることが分かってきたり、授業時に行われる聞き取りの小テストでも最初より聞き取れて良い点数を取ることができたりとだんだん聞く力がついてきたことが実感されてとてもうれしく感じた。また、クラスメイトもまだ十分に中国語を話すことができないため、彼らとは英語でコミュニケーションを取らなければならなかったが、それも思うようにうまくいかず、もどかしさを感じた。中国語同様、英語もこのプログラムで成長させることができたと感じた。

また、日常生活の中でも新しい発見だらけだった。なかでも一番驚きだったのは、トイレで、とてもきれいなショッピングモールなのにトイレに行ったらドアもないし、トイレ自体もとても汚れていて、うわさには聞いたことはあったが本当にこのようなことがあるのかと、びっくりさせられた。また、道を歩いているだけでも発見することは様々で、道がデコボコしていて歩きにくいこととか、道にゴミがたくさん落ちていることとか、腕がなかったりやせ細っている人たちが当たり前のように道端に座ってお金を乞うていることとか、日本のきれいな道しか歩いたことがない私にとっては本当にびっくりで、どれだけ日本が恵まれている国であるのかということも再確認することができた。他にも食文化でも驚きがたくさんで、まずお皿が割れていたり、食堂では食べカスが散らかっているのが当たり前みたいなことがあったのにも驚いたし、売っているジュースが甘すぎたり、日本語で緑茶と書いてあるのに私たちがいつも飲んでいる緑茶とは全然違ったり、お店で食べるご飯はどれも脂っぽかったり…何もかも初めて食べる時の一口目は驚きの連続だった。そしてその脂っこさからおなかを壊すこともあったし、空気の悪さから咳が止まらなくなりそこから熱を出して寝込むという経験もした。このように、思っていたよりも文化や習慣の違いがあり大変に思うこともたくさんあった。しかしそれ以上に楽しいことがたくさんあった。特にクラスメイトとの出会いは私にとって一番心に残るいい体験だった。日本にいたら絶対にこのようにたくさんの人種の友達ができることもないし、一緒に中国語の勉強を頑張ろうと言える仲間が増えたことは心から嬉しいと思う。

私は元から1年間程度の留学がしたいという考えがあったが、この研修に参加したことでさらにもっと中国について知りたい、留学したいと感じることができた。新しい価値観を得られたことも少しでも勉強できたことも、もっと頑張ろうと思えたことも、すべて私にとってプラスの経験となった。参加して本当に良かったと思う。最高の3週間だった。

第4回暨南大学交流研修訪問団に参加して

経済学部 2 回生 女子学生

今回、第四回暨南大学交流研修訪問団に参加して、本当に良かったと心から思える旅になりました。最初、中国の空港に到着してから大学までバスにりましたが、車の速さや車線変更の仕方、歩行者が道路を平然と通っていたり、電動付き本当の自転車がたくさん走っているなど大変驚かされました。到着してすぐから刺激的な中国での生活が始まる予感がしました。この三週間で、日本で中国語を授業でとっているだけでは絶対に知れない中国を、五感を使ってたくさん体験することができました。

大学では設備もよく快適な寮で生活しました。暨南大学に通う日本人生徒も何名かおり、大変良くしてくれました。感謝です。私が入ったクラスはアフリカ、アジア、アメリカ、ヨーロッパ圏と多国籍で、基本的に会話は全て英語でした。私は大学で中国語の授業を一年間取っていましたが、最初授業が全く聞きとれず、クラスメートに英語で教えてもらう日々が続きました。最後には最初よりは会話も授業も聞き取れるようになりました。生徒も先生も大変仲の良いクラスで、週末にみんなでピクニックやサイクリング、カラオケに行ったりと、三週間という短い期間でしたがとても仲良くなり毎日が本当に充実しました。

三週間いたため中華料理をたくさん食べることができました。広州の料理はどれも、想像もしない程とても油が多かったです。最初料理に胃が慣れるまでに時間がかかりしばらくお腹を壊していました。毎日昼と夜は外食でしたが、安さには驚きました。昼は 10 元～20 元、夜も 50 元あればとても豪華な食事ができました。地元の人が行くような小さいお店でとてもおいしい麺や飲茶も安くで食べることができよかったです。

授業が終わってからや週末祝日にはほぼ大学を出て町に行きました。道があまり整備されていないところが多く、また下水処理も上手くされていないのかあちらこちらで異臭がしました。歩きたばこをする人や道にゴミを捨てる人が多く道は汚かったです。綺麗で安く便利な地下鉄を利用しましたが、利用者が多く、また、降りる人が優先というルールは無いので、セール会場にいる気分になりました。飲食店やスーパー、百貨店の店員でさえ無表情で、メニューをほるなど日本では考えられない接客姿勢でびっくりしました。最初は怒っているのかとびくびくしましたが、それが普通なようで、すぐ慣れました。9月は日本の真夏のようにジメジメと蒸し暑かったです。あまりおしゃれをしている人もいなく、女性のほとんどが化粧をしていないところも驚きました。また、他大学の日本語学科の中国の学生との交流会も頻繁にあり、たくさんの人と交流することもできました。

今回の留学を通じて学んだことは数えきれなくありますが、一番刺激されたことは、英語をもっと勉強したいという意欲です。また、中国にきて、日本の良さをより思い知ることができました。と同時に、来る前より中国を好きになりました。これからもっと力を入れて中国語を学びたいと思えました。文化の違いには驚くことの連続でしたが、異文化を受け入れる楽しさや多文化に触れる楽しさを味わうことができ、自分を成長させることが

できたと思っています。

第4回暨南大学交流研修訪問団に参加して

経営学部2回生 女子学生

このプログラムに参加したのは、もともと中国に興味があつて中国語を話せるようになりたいと思い、2回生から授業で中国語を選択して勉強していました。半年しか勉強していなかったけれど中国に行くことで少しでもステップアップできるのではないかと思い参加しました。

授業では、1番初級クラスに入って勉強しました。初めは先生の言っていることが少ししか聞き取れなくて大丈夫かなと正直不安になりました。しかし、時間が経つにつれて聞き取れるようにはなつたと思います。クラスメートと話すのは、お互い片言の中国語、そんなにうまくない英語でコミュニケーションをとっていたので自分の言いたいことを伝えるのに苦労しました。同時に、自分の英語のコミュニケーション能力の無さを実感しました。今まで英語をずっと勉強してきたけれど、テストのために文法を覚えていました。自分が思っていた以上に文法メインの英語と話す、通じる英語は異なりました。だから、研修が終わった今中国語はもちろん、英語のコミュニケーション能力を向上できるよう勉強していきたいと思っています。

今回、私は初めて中国にいきました。海外には旅行で何度か行ったことがあり、1度台湾に行ったことがあったので広州も同じ感じかなと思っていました。行く前までは、広州と聞いても正直ぱつと頭に浮かぶものはありませんでした。だから、広州は想像以上に都会でした。ビルがたくさん立っているのを見て驚きました。また特に驚いたのは、地下鉄の設備です。駅はすごくきれいだったし、地下鉄の路線もたくさんあり驚きました。しかし、道路や歩道は日本のようにキレイに整備されていなくて所々でこぼこの点はまだまだ発展途上だなと思ったし、貧富の格差もまだまだあるなと感じました。中国に来て、食事の値段が日本に比べてとても安いなと思ったけれど、高級店とかの食事の値段を見てみるとものすごく高くて裕福な人はとても裕福なのかとったりしました。それを、感じる事ができたのも主な観光地に行くだけではなくディープな地元の市場などに行く事ができたのが大きかったです。

この研修に参加することは部活動の関係などで悩んでいました。しかし、帰国した今参加して本当に良かったと思います。日本で過ごす3週間とは全く異なった内容の濃い3週間を過ごすことができました。実際に中国に行くことで自分の価値観や中国に対するイメージも変わりました。この研修で体験したことは必ずこれからの自分にとってプラスになると思います。楽しむところは思い切り楽しんで、勉強するときは勉強しとても充実した短期研修でした。